
童話 アリとキリギリス(お下劣版)

神村律子

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

童話 アリとギリギリス（お下劣版）

【Nコード】

N4274I

【作者名】

神村律子

【あらすじ】

アリとギリギリスのお下劣バージョン。

「最近、キリギリスさんを見かけないが、どうしたのかな？」

「アリさんはよくテレビに出ていますよね」

「いやいや、そのお笑い芸人の話ではなくてね」

私はアゲハ蝶のお蘭。この森一番の美しさを誇っている。

今私の問いかけにおかしな答えをしたのは働きアリのジユリー。

バカなのか天然なのか、それとも人を食った、あいや、虫を食った奴なのか？

かなり謎めいている。

「キリギリスさん、冬も近いというのに毎日バイオリンを弾いて遊んでいたからさ。食事大丈夫なのかと思ってね」

私は姿形はどこかの国の女医と一緒に派手で優雅だが、本当はとても心優しい性格なのだ。

しかし、多くの仲間が誤解をしている。

特にコメツキバツタのりったんは酷い。

私を魔王にした紙芝居をして、一儲けしているのだとか。

今度見かけたら肖像権侵害で損害賠償請求の訴訟を起すと言つてやるわ。

「そうなんですか」

ジュリーは会話のほとんどを「そうなんですか」でやり過ごす。

確かに便利な言葉かも知れない。

「で、ジュリーは知らないの、キリギリスさんの事は？」

「ヤギさんのことなら知っています」

そのヤギさんがキリギリスさんなんだけど。もしかして私は、かわれているのだろうか？

「そのヤギさんの事を聞きたいのよ。知ってるの？」

「はい」

「で、どうなの？」

「ヤギさんは毎日バイオリンを弾いていました」

「うんうん。それで？」

私は少しイラついて来た。それは私が話したことですよ！

「昨日はベートーベン、毎日昨日はメンデルスゾーン、昨日昨日は...

「...」

「そんな話、聞いとらんわい！」

私は遂に怒鳴ってしまった。でもジュリーはニコニコしたままで、

「そうなんですか」

この女に尋ねた私がバカだった。

「もういいよ、他の誰かに聞くから」

「そうなんですか」

まだ笑顔だ。考えてみると、この子の笑顔以外の表情を見た記憶がない。

「でも今日は聞いていないんです。どうしたのでしょうか？」

「え？」

私は飛び去りかけたが、着地し、ジュリーを見た。

「今日は見かけていないのね？」

「はい。バイオリンを弾くお時間なのですが」

嫌な予感がした。あのヤロウはいけ好かない嫌味な奴だが、バイオリンの腕だけはこの森一番だ。

そして何より、あいつが日課のバイオリンを忘れるはずがない。

何かあったのかも知れない。そう考えるべきだ。

私はジュリーを伴い、ヤギのところに行った。

「おい、ヤギ。いるか？」

私は奴の家の薄汚れた玄関のドアを力任せに叩いた。

誰だ、今壊れるって言った奴は？

「ひーい」

何だ？ 妙な返事だな。

「いるのか？」

「ふーい」

「???」

どうしたんだ？ 私はジュリーに目配せして、ドアを開いた。

鍵はかかっていなかった。

そのオンボロなドアはギイイとヤギのバイオリンが壊れたかのよ
うな情けない音を立てて開いた。

「げっ」

私は思わず目を逸らせた。目の前にはこの世の物とは思えない光景が展開されていた。

ジュリーはどうしたことが、マジマジと見ている。

「ホーイ、ダメだよ、いきなりドア開いちゃ」

ヤギはこちらに尻を向けた態勢で、持病の「痔」の治療中だった。

「ヤギさんはお尻に可愛いプチトマトを三つ着けてます」

ジュリーの実況を私は笑いを堪えて聞いていた。

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になるうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能^{たんのう}してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n4274i/>

童話 アリとキリギリス(お下劣版)

2011年1月27日13時22分発行